

2022年4月27日

## 「2021年度 公益財団法人ノエビアグリーン財団 助成事業」採択者発表

公益財団法人ノエビアグリーン財団は、日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、心身ともに健全な青少年の育成に寄与することを目的として、一般公募による助成活動を実施しています。今回も多数のご応募をいただきまして誠にありがとうございました。この度、厳正なる選考の結果、総応募件数320件（団体200件、個人120件）の中から、以下の87件（団体45件、個人42件）を採択させていただきました。詳しくはノエビアグリーン財団ホームページをご覧ください。

今後も、より多くの皆さまを支援できるよう事業を行ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 2021年度採択者一覧

#### 《団体》45件

NO.	団体名	事業内容
1	特定非営利活動法人 アイス (福岡県)	いじめや学校生活のトラブルなど、さまざまな理由で学校に通えない被災地の子供たちの自尊心を育み、将来への視野を広げる出前授業を実施。
2	あさ・くる (福岡県)	九州北部豪雨水害で被災した子供たちを対象に、自然体験活動「こども自然スコール」を実施。
3	特定非営利活動法人 アースウォーカーズ (福島県)	福島県・宮崎県の小学生を対象に、自然の大切さや環境保全について学ぶ自然体験活動を実施。

4	認定特定非営利活動法人 あっちこっち (神奈川県)	学校に通えない難病の子供たちを対象に、芸術を通して成功体験や「学ぶ喜び」を届ける『こどもホスピス芸術学校プロジェクト』を実施。
5	特定非営利活動法人 池田市公益活動促進協議会 (大阪府)	大阪府池田市の歴史や文化、自然環境を次世代に引き継ぐため、さまざまな自然体験や里山を舞台にした伝統文化を学ぶ事業を実施。
6	笑顔つながるささやま ステイ実行委員会 (兵庫県)	被災地の子供たちを対象に、兵庫県丹波篠山市にて自然体験活動「笑顔つながるささやまステイ 2022」を実施。
7	特定非営利活動法人 えき・まちネットこまつ (山形県)	地方農村部の空き店舗を活用した子供食堂を複数開設し、生活困窮世帯や片親家庭の子供たちの健全育成を支援。
8	かすがこどもにほんごクラス (福岡県)	日本語を母語としない子供たちを対象に、安心して日本での生活が送れるよう、日本語教室や農業体験活動を実施。
9	社会福祉法人 神奈川県社会福祉事業団 児童養護施設すまいる (神奈川県)	在園の子供たちを対象とした農業体験を通じて食べ物の大切さを学び、食品ロスの軽減につなげる食育活動を実施。
10	認定特定非営利活動法人 九州車いすテニス協会 (福岡県)	障がいの有無に関わらず、専門知識のあるコーチによるジュニアのためのテニス×車いすテニス教室や体験会を実施。
11	九州小学生バドミントン連盟 (佐賀県)	九州小学生バドミントン連盟強化事業として、九州8県の選手を対象に、強化合宿などを定期的に開催。
12	特定非営利活動法人 子どもセンターあさひ (大阪府)	自然体験や環境に配慮したものづくり体験を通して、楽しみながら自ら考え行動につなげる「SDGs 体験学習プログラム」を実施。

13	一般社団法人 コンパスナビ (埼玉県)	児童養護施設を巣立つ若者たちを対象に、生活再建のサポート事業を実施。
14	一般社団法人 シッティングスポーツ協会 (茨城県)	障がいのある子供たちが、家族や友人と一緒に車いすバスケットボールを楽しめる体験会や大会を実施。
15	特定非営利活動法人 自由創造ラボたんぽぽ (神奈川県)	不登校の子供たちの教育格差をなくすため、自然体験とデジタル体験を通して社会性を育む事業を実施。
16	一般社団法人 スポーツ能力発見協会 (東京都)	沖縄県石垣市全小中学生を対象に、子供たちの優れた能力を発見し可能性を高めるため、運動能力を測定し、データ分析などを行う「DOSA スポーツ能力測定会」を実施。
17	世界にひとつの宝物づくり 実行委員会 (滋賀県)	地域の子供たちや障がいのある子供たちを対象に、伝統産業である信楽焼の「土」を素材とした制作体験を通して、豊かな創造力を育む「つちっこプログラム」を開催。
18	空みずきの会 (山口県)	障がいやアレルギーのある子供たちを対象に、災害時に役立つ車中泊訓練やアレルギー対応の炊き出しを実施。
19	特定非営利活動法人 地球対話ラボ (東京都)	東北の子供たちがテレビ電話を活用し、同じく被災地であるインドネシア・アチェの子供たちと国際交流を図る事業を実施。
20	チーム「夢・希望・元気」プロジェクト (栃木県)	東日本大震災の被災地である福島県相馬市の小学生を対象とした自然体験とジュニアリーダー育成活動を実施。
21	特定非営利活動法人 手と手と手 (香川県)	発達障がい児が利用する児童デイサービスにて、外部講師による出張ダンスやハンディキャップヨガ教室を実施。

22	特定非営利活動法人 トイボックス (大阪府)	「生き抜く力」を自ら育む自然体験プログラムを、年間を通して実施。
23	特定非営利活動法人 時ノ寿の森クラブ (静岡県)	子供たちの主体性を育むため、森林里山の資源をいかした自然体験プログラムを実施。
24	特定非営利活動法人 にしのみや次世代育成支援協会 (Nobars) (兵庫県)	地域の子供たちの学習のサポートと、近隣住民との交流を通して、子供たちの住民による見守り合いにつなげる事業を実施。
25	根室スイミングクラブ (北海道)	近代五種競技のジュニア選手発掘事業を実施。
26	特定非営利活動法人 ノーマ Café (愛知県)	さまざまな自然素材を用いた秘密基地づくりを通して、自然を体感し、成長や学びを育む自然体験活動を実施。
27	ハッピーズ (宮城県)	聴覚障がいを持つ小学生のためのデフバレーボールレッスンサイト運営と疑似サイレントバレー体験会による普及活動を実施。
28	認定特定非営利活動法人 ハートフル福祉募金 (宮城県)	聴覚障がいを持つ子供たちを対象に、全国で活躍するデフアスリートによるデフスポーツフェスティバルを開催。
29	公益財団法人 ハーモニセンター (東京都)	長野県茅野市周辺の不登校の子供たちを対象に、馬の世話や乗馬体験などを通じた居場所づくり事業を実施。
30	一般社団法人 ハピリスジャパン (東京都)	障がいのある子供たちを対象に、自分の可能性を広げる機会を提供するパラスポーツ体験授業を実施。

31	一般社団法人 フェリーチェあおもり (青森県)	小学生を対象に子供たちの創造性豊かな生育をサポートする「学習サポート型創造塾れっつあーと！」を実施。
32	公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 (東京都)	児童養護施設の子供たちを対象に、「宿泊型キャリア教育セミナー」や職場見学による自立支援事業を実施。
33	ブレーカープロジェクト実行委員会 (大阪府)	地域の子供たちを対象にした即興音楽のワークショップを通して、廃校跡の体育館を拠点とした恒常的な「音の場」づくりを実施。
34	北海道文化団体協議会 (北海道)	障がいの有無に関わらず子供たちがアートを通して輝く未来を創出するため、『こどもアール・ブリュット北海道みらい作品展』を開催。
35	特定非営利活動法人 真ごころ (千葉県)	障がいのある子供たちへの運動療育として、放課後等デイサービス事業を実施。
36	特定非営利活動法人 南河内こどもステーション (大阪府)	障がいの有無に関わらず子供たちがのびのびと成長できる”共生社会”を目指した自然体験活動を実施。
37	一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク (神奈川県)	児童養護施設の子供たち等を対象に、環境保全や自然災害への学びを育む自然体験学習を実施。
38	特定非営利活動法人 里豊夢わかさ (福井県)	里山での自然体験を通して、コミュニケーション能力を高め、生きる力を育む活動を実施。
39	特定非営利活動法人 わくわく (福岡県)	未来を担う子供たちの可能性を広げていくため、「スポーツ」「アート」「環境」「国際交流」「人権」「食」をテーマとしたさまざまな体験活動を実施。

40	<p>特定非営利活動法人 ワンダーアート (宮城県)</p>	<p>障がいの有無を越え、陶芸制作を通して、創造する素晴らしさを体感し、豊かな感性を育む創造体験プロジェクトと展覧会を開催。</p>
41	<p>特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan (ビーイング アライブ ジャパン) (東京都)</p>	<p>長期治療を必要とする子供たちを対象に、スポーツチームやアスリートと協働し、1泊2日のスポーツキャンプ事業を実施。</p>
42	<p>特定非営利活動法人 BLACKSOX(ブラックソックス) (神奈川県)</p>	<p>障がいのある子供たちの達成感や自己肯定感を育むため、スポーツ体験教室を実施。</p>
43	<p>一般社団法人 HOKKAIDO ADAPTIVE SPORTS (ホッカイドウ アダプティブ スポーツ) (北海道)</p>	<p>4歳から高校生までの手足に障がいのある子供たちを対象に、自立と社会参加を促すため、運動教室や文化教室、宿泊イベントを実施。</p>
44	<p>一般財団法人 MOTTO(モット) (宮城県)</p>	<p>重症心身障がい児を対象に、プール活動のサポートやカヌー体験会などを実施。</p>
45	<p>特定非営利活動法人 Silent Voice(サイレント ボイス) (大阪府)</p>	<p>コロナ禍、孤独を抱える全国のろう児・難聴の子供たちを対象に、手話と連動させた”言葉教材”の年間プログラム開発を実施。</p>

NO.	氏名	年齢※	競技種目
1	イムラ カズキ 飯村 一輝 (京都府)	17 歳	フェンシング
2	イガラシ ハルト 五十嵐 晴冬 (北海道)	18 歳	フリースタイルスキー エアリアル
3	イケダ カイト 池田 海人 (神奈川県)	18 歳	セーリング 470 級
4	イケダ ハツキ 池田 葉月 (北海道)	16 歳	スキー ノルディック複合
5	イツサキ シオン 逸崎 獅王 (兵庫県)	14 歳	硬式テニス
6	ウチヤマ リオン 内山 怜音 (群馬県)	17 歳	ブレイキン
7	オオタ ナツ 太田 捺 (北海道)	14 歳	近代五種
8	オカモト カイ 岡本 佳依 (佐賀県)	13 歳	テコンドー
9	オカモト ルカ 岡本 留佳 (佐賀県)	15 歳	テコンドー
10	カミノダ シンタロウ 上園田 心太浪 (大分県)	18 歳	セーリング 49er 級

11	カワムラ アンリ 川村 あんり (東京都)	17 歳	フリースタイルスキー モーグル
12	キウチ ヒョウガ 木内 彪凱 (静岡県)	16 歳	自転車 BMX レーシング
13	キタガワ アキヒサ 北川 晃久 (大阪府)	16 歳	自転車 BMX レーシング
14	キノシタ ハユ 木下 晴結 (大阪府)	15 歳	硬式テニス
15	クボタ マチコ 久保田 真知子 (長野県)	18 歳	スキー ジャンプ
16	クロスリー マユ クロスリー 真優 (東京都)	15 歳	硬式テニス
17	コバヤシ ハルナ 小林 陽菜 (滋賀県)	16 歳	カヌー スプリント
18	コンドウ カオル 近藤 薫 (岐阜県)	18 歳	競泳 (パラスポーツ)
19	サイトウ ショウタ 斎藤 彰太 (神奈川県)	16 歳	カヌー スラローム
20	サワダ シホ 澤田 詩歩 (岩手県)	18 歳	バドミントン (パラスポーツ)
21	シブヤ ジュリ 渋谷 樹里 (滋賀県)	18 歳	アーチェリー



22	シマクラ テルアキ 嶋倉 照晃 (京都府)	17 歳	セーリング 49er 級
23	シマダ マオ 島田 麻央 (東京都)	13 歳	フィギュアスケート
24	スド リョウ 数土 凌 (長野県)	18 歳	スキー アルペン
25	タケヤマ ユズハ 竹山 柚葉 (京都府)	17 歳	フェンシング
26	タナカ エイゴ 田中 映伍 (神奈川県)	17 歳	競泳 (パラスポーツ)
27	トオヤマ カツモト 遠山 勝元 (東京都)	15 歳	陸上 トラック 短距離 (パラスポーツ)
28	ナイトウ エイシュン 内藤 英俊 (福岡県)	15 歳	バスケットボール
29	ナカオカ セイル 中岡 誠琉 (滋賀県)	14 歳	カヌー スプリント
30	ナカガワ モエ 中川 もえ (宮崎県)	18 歳	陸上 トラック 短距離 (パラスポーツ)
31	ナカガワ リュウ 中川 瑠 (大阪府)	17 歳	スポーツクライミング
32	フクダ カノン 福田 果音 (福岡県)	15 歳	競泳 (パラスポーツ)

33	マツダ リンコ 松田 鈴子 (愛知県)	16 歳	硬式テニス
34	ミシマ マリア 三島 まりあ (島根県)	17 歳	カヌー スプリント
35	ミヤガワ ミヨリ 宮川 珠和 (大阪府)	13 歳	競泳 (パラスポーツ)
36	ミヤシタ タマキ 宮下 環 (山梨県)	17 歳	山岳スキー
37	ミヤジマ リンゴ 宮嶋 林湖 (長野県)	18 歳	スキー ジャンプ
38	ムシカ マオ 虫賀 愛央 (愛知県)	16 歳	硬式テニス
39	ムシカ ミオ 虫賀 心央 (愛知県)	16 歳	硬式テニス
40	ヤカベ マイ 矢ヶ部 真衣 (福岡県)	17 歳	バドミントン (パラスポーツ)
41	ヤマモト ナツキ 山本 夏生 (兵庫県)	16 歳	硬式テニス
42	ワタナベ エレン 渡邊 愛蓮 (長野県)	18 歳	スキー アルペン

※五十音順

### 【公益財団法人ノエビアグリーン財団概要】

設 立 日	2013年3月21日（公益財団法人移行日：2013年12月3日）
所 在 地	東京都中央区銀座 7-6-15
事 業 目 的	環境及びスポーツ並びに児童・青少年の健全な育成に関する事業を行い、地球環境の保全及びスポーツの普及と発展並びに未来を担う児童・青少年の育成を通じ、豊かな社会の形成に寄与すること。
事 業 内 容	(1) 環境活動の普及と啓蒙 (2) 環境活動団体及びスポーツ団体等への助成 (3) 各種スポーツの普及と選手育成の支援 (4) 児童・青少年の健全育成支援 (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### ＜お問い合わせ＞

公益財団法人ノエビアグリーン財団 事務局 〒104-8208 東京都中央区銀座 7-6-15

TEL 03-5568-0305 9:00～17:30(土日祝日・年末年始除く) FAX 03-5568-0441

E-mail [info@noevirgreen.or.jp](mailto:info@noevirgreen.or.jp) ホームページ <https://www.noevirgreen.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/noevirgreenfoundation>

Instagram <https://www.instagram.com/noevirgreenfoundation>

YouTube <https://www.youtube.com/c/noevirgreenfoundation>